

3.JDK 環境設定

JDK は、Windows の DOS 窓（ドスまど）で実行するコマンドラインツール
になっています。
DOS 窓とは、「コマンドプロンプト」のことです。
「スタートメニュー」「プログラム」「アクセサリ」「コマンドプロンプト」
を選択することで開くことができます。
この DOS 窓でプログラムを実行できるようにするには、
Windows の環境設定が必要です。このことを、パス（Path）を通すと言います。

手順 . . . マイコンピュータを右クリックして表示されるメニューから
プロパティを選択する等して「システムのプロパティ」を開きます。
手順 . . . システムのプロパティが表示されたら、「詳細」のタブを選択し、
「環境変数」をクリックして環境変数の設定ウィンドを開きます。

<http://akioneer.sakura.ne.jp/kuu/java3-1.jpg>

手順 . . . 環境変数の設定状況により、手順 3 - 1 / 手順 3 - 2
のいずれかを行ってください。
手順 3 - 1 . . . 「 . . . のユーザー環境変数」に変数「Path」がない場合、
「新規」をクリックし、変数名を「Path」、
変数値「C:¥Program Files¥Java¥jdk1.5.0_14¥bin」と入力し、「OK」を押下します。

<http://akioneer.sakura.ne.jp/kuu/java3-2.jpg>

手順 3 - 2 . . . 「 . . . のユーザー環境変数」に変数「Path」がある場合、
変数「Path」を選択し「編集」ボタンを押下、
変数値の末尾に「;C:¥Program Files¥Java¥jdk1.5.0_14¥bin」
と追加で入力し、「OK」を押下します。

<http://akioneer.sakura.ne.jp/kuu/java3-3.jpg>

手順 . . . 環境変数のウィンドウの「OK」ボタンを押下して変更を確定します。

<http://akioneer.sakura.ne.jp/kuu/java3-4.jpg>

手順 . . . Windows を再起動してパスの設定を反映させます。
コンピュータを再起動すると Java が使えるようになります。
「スタートメニュー」「プログラム」「アクセサリ」「コマンドプロンプト」
でコマンドプロンプトを開いてください。
環境設定が成功していれば、コマンドプロンプトで「javac」と打ちこんで
「ENTER」を押せば、javac に関するオプションの説明が出てきます。

<http://akioneer.sakura.ne.jp/kuu/java3-5.jpg>

これで JDK のインストール作業完了です。

i アプリ (DL)